

会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	<開催日> 平成 30 年 11 月 30 日(金)	<傍聴人数> 1 名					
森下副会長		<時 間> 14:00~15:28	<傍聴室>					
中川(勉)委員 中川(麗)委員		<場 所> 岸和田市役所 新館4階 第2委員会室	岸和田市役所 新館 4階 第2委員会室					
承認	公開							
<名称> 第 16 回 (平成 30 年度第 3 回) 岸和田市子ども・子育て会議								
<出席者>								
(岸和田市子ども・子育て会議委員出欠状況) ○は出席、■は欠席								
梅崎	江龍	近江	岡野	奥	阪口	篠本	寺田	中川(勉)
○	○	■	○	○	○	○	■	○
中川(麗)	新田	松山	撫養	森下	藪	山本	米澤	
○	○	○	○	○	○	○	■	
(事務局)								
寒川保健部長、藤原教育総務部長、谷学校教育部長、濱上生涯学習部長、濱崎健康推進課長、永島子育て支援課長、宮内子育て給付課長、池宮子育て施設課長、山田教育総務部総務課長、山本学校管理課長、西尾生涯学習課長、他								
<議題等>								
1 開会								
2 議題								
(1) 岸和田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査対象者について ・就学前児童用、就学児童用、チビッコホーム用								
(2) 岸和田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査票について ・就学前児童用、就学児童用、チビッコホーム用								
(3) その他								

<概要>

- 事務局開会挨拶
- 議題（１）について事務局から説明
- 議題（２）について事務局から説明
- 事務局の説明を受け、質疑・意見交換
- 事務局から次回開催予定日についての説明

■意見交換（概要）

【副会長（会長代理）】

本日は、会長がどうしてもご都合がつかないということで、会長代理を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、次第に従い、議題（１）岸和田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査対象者について、事務局から説明をお願いします。

（議題（１）について事務局説明）

【副会長（会長代理）】

ありがとうございました。ただいま事務局から議題（１）について、説明がありました。調査対象者の抽出について、皆さんこれでよろしいでしょうか。

（委員 異議なし）

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。次に、議題（２）岸和田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査票について、事務局より説明をお願いします。

（議題（２）について事務局説明）

【副会長（会長代理）】

ありがとうございました。ニーズ調査票について、前回提示のあったものから修正していただいた分を報告いただきました。それでは、ご意見のある項目について、委員の皆さんで議論をしていきたいと思っております。ご意見等があれば、まずあげていただきたいと思います。お願いします。

【委員】

資料３、４、５について、一つずつ。私の認識違いもあるかもしれないのですけ

れども、お聞きします。資料3の5ページ間 12 の就学前の子ども達に通っているところの中で、パピースクールとか、いながわ療育園とかは、どこにあてはまるのか。ここに入れるものではないのか。

2つ目は、資料4の7ページの放課後の過ごし方で、私は小学校の者ですけれども放課後等デイサービスに通っている子もたくさんいます。障害のある子ども達です。それはその他になるのか、どこかにあてはまっているのかということです。

3つ目は、特に大きなことではないのですが、資料5で先ほど追加していただいた校区です。小学校では順番がブロックごとに並んでいて、それと若干違います。まったくバラバラでもなく、だいたいあっているけど少し違うところがあるので、もし修正できるならしていただいた方が有難いです。以上3点です。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございました。

他にございますか。

【委員】

先ほど、父子家庭と母子家庭の記入は不要ということを追加してもらったことは有難いのですが、問2で「母親」「父親」「その他」と書く欄があります。あまりないのかもしれませんが、お父さん・お母さん両方いなくておじいちゃんおばあちゃんの家で過ごすとなった時は、そのおじいちゃん・おばあちゃんを働く人とみるのですか。詳しく書けば書くほど、難しくなってしまう。ニーズを調べる側はよりの確に調べたいと思うので、より細かくお伝えしたいということだと思いますが、お父さん・お母さんがいないお子さまも市内にはおられる可能性もある。単身赴任とか、お父さん・お母さんがいなくて、働いてはいるけどそのことをここに書く必要性があるのかどうか。そもそもおられないご家庭に対する配慮は、このニーズ調査では汲み取れなくなるのか。それとも、もっと違う方法を考えないといけないのか。どう考えれば良いのか。

あと、チビッコホームと支援法の絡みの表紙の書き方に統一感がなく、チビッコホームの方は人数を書いていない。チビッコホームに行っている人、行っていない人含めて3,000何人の方を抽出しているということを書いておいてもらえれば良いと思います。チビッコホーム利用者に送っているようなイメージになってしまわないか。利用していないから書かなくて良いのではなく、もう少しより細かく書いてもらうか、書式を統一してもらえないか。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございました。

他何かございますか。

【委員】

小学生児童用調査票の問 17 の 10 番「家で、ひとりで勉強などをする」を「～勉強などをして過ごす」に変えると書いてありますが、変わっていません。

【副会長（会長代理）】

二一ズ調査票に関するご意見一覧の項番 23 ですか。

【委員】

はい。小学生のお子さんがある方へのアンケートで、問 17 の 10 番を「～勉強などをして過ごす」と表記したいと訂正で書いてありますが、変わっていないと思います。

【事務局】

小学生の調査票、資料 4 の問 17 の 10 番について、ご指摘のとおりですので修正します。

【副会長（会長代理）】

それでは、修正ということでよろしくお願ひいたします。

他ございませんか。

それでは、最初にご意見があった 3 点について、就学前、小学校、チビッコホームのところを整理していきたいのですが、まずチビッコホームの調査票の問 1 の表記の仕方については、ブロックごとに通常はしているとのことですが、どうですか。

【事務局】

先程委員からご指摘いただきました、まず 1 点、チビッコホームの調査票の問 1 の校区の順番については、就学前と小学生の分と同じ順番にしている、前回の調査もこの順番でしていますので、事務局としてはそのまましていきたいと思っています。

【委員】

それで結構です。ここだけ見て、ちょっと違うなと思ったもので。

【副会長（会長代理）】

それでよろしいでしょうか。では、この件はこのままでということをお願いしま

す。

次に、小学生の7ページの間13は障害のある児童が通所しているような場合は、「その他」に入るのかどうかというところですが。

【事務局】

選択肢の中に入らないような施設に通っている方については、申し訳ございませんが特段個別にそれぞれ設けているわけではありませんので、「その他」の中にご記入いただければと考えていますが、いかがでしょうか。

【副会長（会長代理）】

その点に関して、ご意見等はございますか。

【委員】

記入例等を書いてもらえれば、いいのではないかと。書く側は難しいので、項目に含まれていないものについては、こういう施設が考えられるが、そういう人たちは「その他」の欄に詳しく書いてくださいとしてもらった方がよい。記述式になるということは、選択肢にない人は書かなくてよいとなってしまっても困るので、その辺りは、配慮いただければと思います。

【副会長（会長代理）】

どうでしょうか。

【委員】

先ほどおっしゃった放課後等デイサービスは、結構最近増えていると思うので、その選択肢は「その他」ではなくこの中に入れても良いのではないかと。

【副会長（会長代理）】

放課後等デイサービスについては、項目を増やした方がよいのではないかとという案をいただきましたが、他の委員の皆さまご意見ありますか。

【事務局】

記述の例をあげて記載する方法が良いのか、放課後等デイサービスだけ特に取り出して項目に入れる方がよいのか、委員の皆さま方はいかがでしょうか。

【委員】

私としては、選択肢を増やしてもらった方が記入しやすいということもあるし、

そちらに通っている子は週に4～5日固定で通っている子が多いので、その方が記入しやすいと思います。

【委員】

私も、放課後等デイサービスはもう一般的に知られている言葉ですので、通っている場所がはっきりしていますし、入れる方が選択肢ははっきりして良いと思います。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。項目として追加した方が良いのではないかというご意見が多かったのですが、それ以外のご意見はありませんか。

それでは、追加していただきたいということでよろしいでしょうか。

【事務局】

放課後等デイサービスについては、小学生のお子さんに対するサービスになっておりまして、就学前のお子さんについては児童発達支援があります。小学生の方に放課後等デイサービスを追加させていただきます。就学前は、先程委員からご指摘いただいたパピー、いながわはどこに入るのかというお話しと繋がってきますが、就学前は児童発達支援施設に通っているという項目を追加したいと思います。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。就学前の方は児童発達支援を追加、小学生の方は放課後等デイサービスを追加して項目を増やすということで、よろしいでしょうか。

（委員 異議なし）

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。

それから、次に委員からのご意見のところですが、項目にもあるのですが「父子家庭」「母子家庭」はそのままで良いのかということと、あと、おじいちゃん・おばあちゃんが子育てしている場合もあるので、その辺りはどうかということですが、他の委員から何かご意見があればと思います。恐らく追加していただいた、父子家庭や母子家庭に関する部分に「記入不要です」ということを入れることによって、記入する人はすごく分かりやすいと思うのですが、その辺り皆さんどうですか。ここはそのままでよろしいですか。

【委員】

就学前調査票の問7で同居家族は誰かと聞いているので、父子家庭と母子家庭はここで分かります。この「祖母と一緒に」と「祖父と一緒に」のニーズを取ることは、何かあるのですか。ここで丸をした人は、次に就労のことが書けないのではないか。これは、お父さんもお母さんもいておじいちゃんもいるというイメージで良いのですか。単独ではないですよ。

【事務局】

今ご指摘いただいているところは、国の必須項目になっていまして、「あてはまる番号全て」ですので。

【委員】

そしたら、おばあさんと一緒に一つだけということがあり得るということですね。

【事務局】

はい。

【委員】

その時は、就労は書かなくて良いということで良いですか。

【事務局】

そうですね。その場合は、書いていただくことにはならないと思います。

【委員】

じゃあ、それをどこかに書いておいて欲しいです。ここで記載した人は、もうその問いは書かなくて良いと書いておいてもらわないといけないのではないか。逆に書かないようにしないといけないですよ。ニーズとして汲み取ってはいけないので、国の必須項目と、市が求めているものと誤差が出てこないか。そんなに出ないと思いますが。

【委員】

おじいさん、おばあさんに、働いているかどうかを聞かなくて良いのですか。その子どもさんは誰が働いて生活しているのかということは知らなくて良いのですか。

【委員】

どう考えれば良いのか、分からないので。

【副会長（会長代理）】

例えば就学前の問7の1～3は分かりやすいのですが、4番だけに○をしている人は就労に関して書く欄がないが、それで良いのかということですね。

【委員】

そうです。

【副会長（会長代理）】

この問7に関しては、国で定められた設問項目なので必要であるということで、事務局としてはおじいさんがお子さんを育てている場合は、就労に関してはアンケートとしては必要がないのかということになると思うのですが。

【事務局】

この問11の方も、国の必須項目になっています。問11は(1)で母親、(2)で父親の働く術を伺っています。言っている、おじいちゃん・おばあちゃん、はたまたその他の方もいらっしゃると思います。そこまでは必要ないとは言わないですが、書く欄はない形になります。今回に関しては前回調査に倣うということで、国・府から連絡が入っていますので、同じ形にしております。

【副会長（会長代理）】

いかがでしょうか。

【委員】

問7で祖母と一緒に住んでいる場合、お母さんは、同居はしていないけど別に住んでいて働いている場合、おばあちゃんが答えてくれたとしても、問11の「母親」は働いていますかということに関しては、丸を付けそうな気がします。同居している母親という指定がないので。子育てに関しては、孫をおばあちゃんが日頃は同居して育てている場合も考えられると思います。何を質問として聞こうとしているのか。国は必須項目としていけば市としてはしないと仕方ないと思いますが、アンケートを取る前提をこちらがしっかり押さえた上で取らないと。

【副会長（会長代理）】

今のケースも考えられると思いますが、多分これは親権がお母さんであって、子

育てのお手伝いをしているのがおばあちゃんという関係であれば、これはお母さんが書くアンケートではないかと思いますが、どうですか。

【委員】

普通に考えれば。

【委員】

そうじゃないこともあると思います。実際におばあちゃんが中心に子育てをしているとか。

【事務局】

確かに今委員がおっしゃっているような、色々なご事情のご家庭が存在すると思います。国としては恐らくそのような詳細なケースまでは、なかなか想定していないような設問内容になっていますので、申し訳ありませんが、一般的などという言い方は語弊があるかもしれませんが、そういったご家庭の姿を調査したいということで、レアケースについてはなかなか回答し辛い調査票にはなっていますが、それでご理解いただきたいと思います。

【委員】

今、委員が言われたのは、母親が働いていてそれは別に同居していなくても良いのではないかと思います。誰がその子どもの面倒をみているのか、生活を守っているのかということを知るための調査だと思ったのですが、そういうことが分からなくて良いのかということが気になっています。最近色々な家庭の事情があるかもわからない中で、そういう場合のことは調査におじいちゃんとかおばあちゃんの数として出てこなくても国は良いのかもしれないけれど、私達はそれを知らなくて良いのか。岸和田市にそういうご家庭があるのかないのかということ、ある程度数的に知らなくて良いのか。安全・安心で住みやすい、子どもを育てやすいまちづくりに繋がっていかないのではないのかという部分が気になるのです。国からだけの数字的なもので良いのですか。

【副会長（会長代理）】

今のご意見に関して、他の委員はどうでしょうか。とても難しいところだとは思いますが、恐らくこのニーズ調査の目的が最初にあったように、色々な施策での量的な提供度合いをどうするのかだと思っているので、逆にその他とかアンケート結果でレアなものが出てきた場合は、今後の課題としてはどうかと思いますが。

【事務局】

確かに、今会長代理から言っていたように、委員の皆さんから様々なご意見をいただいている中で、色々なご家庭の事情があることが分析した時に見えてくると思います。たくさんおられるからする、少ないからしないということではないですが、何か支援の必要があるのではないかという課題ではあると思うので、その辺りをまた考えていく必要があると思っています。アンケートについては、現状どおりで進めさせていただければと事務局案では思っているところです。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。委員の皆さま、いかがでしょうか。

質問の内容は以上だったかと思いますが、何か抜けていることがあれば。

【委員】

先程の放課後等デイサービスを入れるかどうかについて、3つともに共通している設問があると思うのですが、それが正にこれだと思っていまして、まず就学前の14 ページの問 24、25 です。これは、就学後の放課後等の過ごし方について聞いている設問になると思います。これと、資料4の小学校の7 ページ問 13 についても、今現在の子どもの放課後等の過ごし方について伺っています。次に、チビッコホームの資料5の1 ページの問3は現在どのように過ごしていますかという設問と、同じく8 ページ問 10 はこれからの放課後等の過ごし方について、とあります。これは全部共通している設問項目だと思うのですが、共通しているのであれば、この中で選ぶ項目は全て同じでないといけないと思います。これがあったり、なかったりというのがあるので、そろえていただく方が良いと思いました。

【副会長（会長代理）】

共通の項目をあげていただいたのですが、そこを統一した方が良いのではないかというご意見です。例えば、自宅が1番になっていたり4番になっていたりということですね。その辺りを少しすっきりと、同じ順番に近いようにされてはどうかと思うのですが。

【委員】

内容が抜けているものが多い。例えば、放課後児童クラブの民間が、就学児の放課後の過ごし方に入っていなかったり、抜けていたりしてます。チビッコホームはありますが、民間がありません。順番も全てを統一した方が、書く側からすれば分かりやすいのではないかと思います。

【副会長（会長代理）】

順番も内容も含め、統一した方が良いのではというご意見です。多分これは1軒に1冊しかいかないのので、書く人はそんなに混乱することはないと思います。ただ、データを集約する時に、統計上できるだけ項目を合わせた方が良いのではないかと。その辺りは、どうですか。

【委員】

逆にそれが入っていないと、正確な抽出はできないと思うのですが。同じ設問で違うことが返ってきてしまう可能性があるのでは。

【事務局】

小学生調査票で、放課後等をどう過ごされているかという部分で、民間と記載し、問10はこれからの過ごし方というところで、民間とは書いていません。こちらとしてはチビッコホームのニーズということで、ここは抜けているのではなく、あえて入れていないです。

【委員】

下の子が民間に行っていて、上の子が普通のチビッコに行っていたら、下の子は書かなくて良いということですよ。チビッコホームがいっぱいだから小学校低学年も来ているのですが、その記載項目がないと続けて行くのもその子達は返答できないことになります。就学前の方には、最低でも入れておいた方が良いのではないかと。

【委員】

どちらにしても、これからの放課後等の過ごし方で量の見込みを取るということは要ると思います。公をそのまま使いたいのか、民間に行きたいのかはその人自身の考え方で、それを抽出するための調査だと思うので。あえて入れていないというのは、おかしいと思います。

【副会長（会長代理）】

この件に関して、他にご意見はありますか。

【委員】

入れてほしいと言っても入れられないと言っているが、なぜ入れられないのかだけ言ってくれたら良い。同じ項目を入れれば良いのではないかとやっているだけなので、並べてくださいということだけ言っているの、その必要性があるかないか

の判断は書く人です。入れない理由は、ニーズを取らないこととイコールなので、ニーズを取った方が良いのではないかと委員が言っているのだから、項目を入れれば良いと思うのですが、入れると言えない理由か何かがあるのですか。

【事務局】

今こちらで言っていたのは入れる・入れないと言うよりも、順番です。民間が入っていないのは、チビッコホームの間 10 になると思います。こちらとしては前回に倣って作成した上で必要ないから入れていないという認識ではいたのですが、今ご意見をいただいたので2番の項目に民間を入れて、ニーズを把握したいと思います。

先程の項目が合わないところについて、もう一度確認したいのですが。

【委員】

合わないと言うより、今現在の放課後の過ごし方とこれからの放課後の過ごし方についての問が大きく4つあります。まず1つが、就学前の14ページの問24、25です。ここには、放課後児童クラブの民間は入っていません。次に、小学生の7ページの問13です。これは、現在の子どもさんの放課後の過ごし方について。次にチビッコホームの1ページの問3、問10です。これは、現在の放課後の過ごし方とこれからの放課後の過ごし方についての設問です。ここの選択肢は同じでないと抽出する内容がおかしくなるのではないか、というところです。順番をそろえるかどうかは事務局側の話なので、別にそれは良いと思うのですが、その中に先ほどの意見として放課後等デイサービスも入れてくれた方が良いのではないか、ということです。

【委員】

全部を9項目にしてください、ということですね。

【委員】

はい、そうです。

【委員】

小学校の7ページの問13の3番の日曜日・祝日の過ごし方は8項目で良いと思いますが、それ以外は9項目でお願いしますということですね。

【副会長（会長代理）】

項目の数をそろえることは可能ですか。

【事務局】

項目を追加させていただこうと思いますが、最後確認だけさせていただきます。まず1点が項目の数をそろえるというところ、それはそうしたいと思います。順番は除いて、就学前の間24の選択肢6のファミリー・サポート・センターが、資料4と5に項目がないので、統一するという。先程委員がおっしゃった民間については追加したいと思いますが、小学生の7ページの日曜日・祝日の過ごし方でチビッコホームの方は足さない。あと、放課後等デイサービスについても追加します。就学前の間24にも放課後等デイサービスを追加します。合わせるところでは、小学生の7ページ間13の7に公園や図書館などの公共施設とありますが、就学前にはその他のところにありますので、ここも合わせます。それで合いますか。

【委員】

その分を問25にも反映させてくれたら良いです。

【事務局】

了解しました。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございました。では、そのように修正していただくということで、よろしいでしょうか。

（委員 異議なし）

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。

では、他に何かございませんか。特に変更点でご意見がなかった項目については、事務局案で進めさせていただきますが、それでよろしいですか。

（委員 異議なし）

【副会長（会長代理）】

ありがとうございます。それでは、ニーズ調査票についてこれで決定したいと思います。事務局にはニーズ調査を進めていただきたいと思います。

【委員】

このニーズ調査に関する細かい項目の意見ではないのですが、この前の会議でも少しお尋ねと言うか危惧しているところがあり、まだまだ先の話にはなりますが、教育無償化の話をさせていただきました。その辺りで少しお尋ねです。無償化になった時に、例えば今在宅でいる3歳児が行こうと思った時、どのような形で受け止めようと岸和田市はされているのか。このニーズ調査をした場合、この中での結論は出ると思います。でも将来的に教育無償化が待っているのであれば、その辺りをどのように考えておられるのか。今だったらお金がかかるから在宅で待機されている方もいると思いますが、さて行こうと思った時に枠がないのであれば、不公平感が生まれるのではないかという思いを持っています。岸和田市の方向性がお伺いできればと思います。広報にも少し載っていて読みましたが、今後市政運営を実現するための構造改革というところで、幼児教育および保育のあり方で0歳から5歳を幼保のあり方の一体的検討、公民を含めた教育・保育施設の再開発の推進、市立幼稚園・保育所の認定こども園化および民営化、小中学校の規模や配置の適正化と書かれています。このニーズ調査の数字は出ると思いますが、そういう考え方がもしあるのであれば、そういうところを聞くようなニーズ調査はできないと思いますが、例えば教育無償化になった場合、あなたは公立・私立幼稚園に行きたいですかということを入れて欲しかった。それはできないと分かってはいましたが。今後岸和田市がそういう構造改革を持っているのであれば、将来的な方向性がお聞きできればと思います。

【副会長（会長代理）】

回答できる範囲内でございますか。

【事務局】

無償化と今回広報で市の方針が中間報告として掲載された内容につきましては、また今後議論が必要だと思っています。今回の子ども・子育てのニーズ調査に関しては、今まで皆さんにご議論いただいた内容で行い、その結果を見て判断していきたいと思っているのですが、そこで無償化が確定してきて盛り込める範囲であれば、議論していただきたいと考えています。市の方針についても、何か皆さんで議論していただく場面が出てきたら、またここで議案として出したいと思っています。

【副会長（会長代理）】

よろしいでしょうか。

それでは、続いて議題（3）について事務局よりお願いします。

【事務局】

次回の会議開催についてです。前回の11月2日の会議でもご案内しましたが、少し先になるのですが、来年3月26日となっております。内容としましては、二一ズ調査結果の報告、目標事業量の報告の予定です。委員の皆さまにおかれましては、お忙しいとは存じますがご出席よろしくお願いいたします。

【副会長（会長代理）】

事務局から次回会議の日程のお話がありました。皆さまお忙しいとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で、本日予定していた議案は全て終了しました。

【委員】

次回が3月26日になるとのことなので確認だけしたい。11月19日に厚生労働省で学童保育に関する支援員の配置基準や資格について定めた基準が参酌化されると発表がありました。従うべき基準から参考にすべき基準に変わることになっています。最悪の場合、支援員さん2人が1人でも良いというような、自治体に任せるという方針が出ました。これについて岸和田市はどう考えておられるのか、確認だけしたいのでお願いします。

【事務局】

その点については国がそのように変えましたが、市でもそれを受けて条例等を制定しておりますので、その中では支援員の配置についても書いています。今回の法改正を受けて、直ちに1人の支援員でみるということは現状では到底できないことだと思っています。1人でみることにしても、へき地や児童数が極端に少ない場合と認識しております。それに従って直ちに基準を緩和していくという考えは、今のところはありません。今後どのようになるかは、また検討が必要な課題だと思っています。

【副会長（会長代理）】

ありがとうございました。

それでは、これで終わりたいと思います。委員の皆さまのご協力、ありがとうございました。